

# ホスピス 緩和ケア週間 In Tokushima 2020



2020年10月4日(日)～10月10日(土)

## ご挨拶

## オレンジバルーン

ようこそパネル展にご入場いただきました。

今年の緩和ケア週間は世界ホスピス緩和ケアデイと連動し10月4日から10月10日の間、開催されます。徳島での開催は今年で15回目になりますが、新型コロナウイルス禍により、例年行われているコンサートや講演会の開催は難しくなりました。「ホスピス緩和ケア週間 in Tokushima 2020」はパネル展を各病院ホームページ上で公開となりました。

新型コロナ感染の拡大により、緩和ケア病棟の運営に大きな影響があり、徳島市民病院と阿南医療センターの緩和ケア病棟が8月から休止しています。感染予防の一環として緩和ケア病棟でのご家族の付き添いやお見舞いが著しく制限されており、がん患者さんのQOLが損なわれている状況です。緩和ケア病棟においてはQOLの確保のために様々な工夫がなされています。例えば、テレビ電話を用いた患者さんご家族とのコミュニケーションの確保など、ITの活用です。コロナ制圧後もこの度の経験を活かして患者・家族・スタッフのコミュニケーションがインターネットで図れるようになると思われます。十分な感染予防を測りつつ、ワクチンや治療法が確立するまでスタッフ一同が力を合わせてこの難局を乗り越える所存です。

ホスピス緩和ケア週間2020のメインテーマは「ケアを必要とする全ての人に緩和ケアを」です。がんのみならず、生命を脅かす全ての疾病に対して、緩和ケアを提供することが、今後の課題です。特に高齢化社会を迎えて急増してくる慢性心不全の患者さんに対する緩和ケアの提供体制の整備が必要です。

2020年は、新しく阿南医療センターに20床の緩和ケア病棟が新設され、近藤内科病院・徳島市民病院・県立三好病院と併せて84床の緩和ケア病棟が県内で整備され、当面の目標が達成されました。今回のパネル展は、この4か所の緩和ケア病棟の他に、がん拠点病院3か所と在宅での緩和ケアを提供している医療機関が参加しています。ぜひ、徳島における緩和ケアの進歩をご覧ください。

令和2年10月4日  
認定NPO法人ホスピス徳島がん基金  
理事長 近藤 彰



# 近藤内科病院 緩和ケア病棟が大切にしている4つの命題

- 症状コントロール
- 日常性の維持
- 人として尊敬されること
- 家族ケア



## 症状コントロール

痛みやからだのだるさ(倦怠感)、呼吸困難などの様々な症状があると、QOLの維持に支障をきたします。緩和ケア病棟では、これらの症状を軽減、緩和しコントロールするために薬物療法と非薬物療法を行っています。また患者様自身が痛みやからだのだるさなどの症状について、どのように感じ、苦痛に思っているかしっかり聴くようにしています。



## 人として尊重される

患者の皆様の価値観や今までの生き方、希望、他者との関係性を尊重することです。患者の皆様が自分らしく生きていこうと思うことができ、それを支え援助していきたくと考えています。

ご家族も患者の皆様と同じように関わることで充実した日々を過ごす事につながると考え取り組んでいます。

## 家族ケア



### • 家族会

前々年の11月から前年の10月の間に亡くなられた患者様のご家族に招待状を郵送しています。当日は自己紹介と入院中や患者様を亡くされてからの様子等を語ってもらい、記念撮影をします。

私たち近藤内科病院の看護師は、患者様やご家族との関わりの中で、その方の人生感や生き方を知り、看護師自身の人生観などを形成するきっかけとなっていると考えます。私たち看護師が行っているケアは患者・家族の皆様のメンタルケアになっているだけではなく、看護師のメンタルケアにもなっています。様々な場面で**患者様やご家族とはお互いに、人として癒し癒される関係**にあります。ご家族の笑顔が見られること、お茶会などでは病室では見られない表情や会話ができること、感謝の言葉をいただくこと、実施したケアにより患者様が安楽になるのを見たときに、私たちスタッフは癒されています。

## 日常性を維持する

1) 基本的な欲求が満たされる  
基本的な欲求が満たされるとは、食事が食べられる、睡眠が確保される、清潔が保持される、排泄がトイレでできる、ということです。この基本的な欲求を自立して行えるように援助しています。

### 【食事】

提供する食事を彩り食と名づけ、色々な料理を一品一品、少しずつ盛り付け、食事に彩を与えています。



### 【清潔】



希望があればできる限り入浴介助を実施します。(チューブの挿入・酸素吸入・意識がなくてもご家族の希望など)

### 【排泄】

できる限りトイレに行きたいという患者さんの気持ちをかなえることができる室内ウォッシュレットトイレ



2) 社会とのつながりを持てるようにする

- 季節の行事、浄瑠璃、フルート演奏会などのミニコンサート
- ボランティアによるティーサービス
- 趣味の継続
- 外出・外泊の援助
- お誕生日会

スタッフが書いたメッセージカード・お花とともに歌を歌ってお祝いし、記念撮影をします

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、面会や演奏会、ティーサービスの提供、外出外泊などが制限されています。このような状況の中、少しでも患者様とご家族とのつながりを持てるように、当院ではテレビ電話の導入を行っています。また、患者様に少しでも季節を感じてもらうように季節のお菓子などを用意したり、スタッフと記念撮影をしたりしています。





# 徳島大学病院緩和ケアチーム

私たち緩和ケアチームは、治療中の方のサポートチームです!!



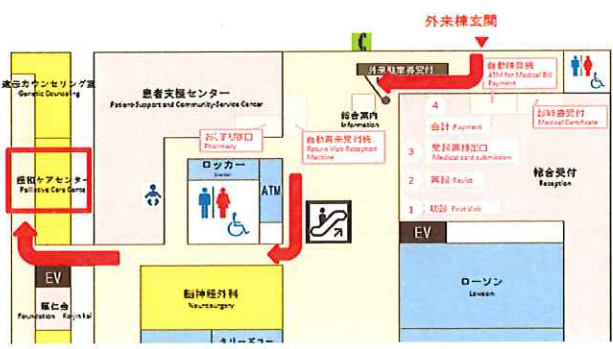
各診療科でがんを治療するために入院されている患者の皆様・ご家族の方に対して、日頃不安に思っていることや・困っていること（痛みや不眠、リンパ浮腫など）、様々な症状を緩和することを目的に、医師・看護師・薬剤師・臨床心理士・理学療法士・栄養士・医療ソーシャルワーカーなどが連携をはかり、患者さんやご家族のところまで直接伺わせて頂きます。



緩和ケアセンター専従看護師



“緩和ケア”とは、病気と闘っている患者さんと、そのご家族を対象とした積極的なケアです。“緩和ケア”という言葉のひびきは、“終末期の方が受けるケア”と、とらえる方も少なくないかと思えます。しかし、“緩和ケア”とは、病期に関係なく、痛みをはじめとする、病気にとまらぬさまざまな症状の緩和をめざすケアのことです。その中には、体の症状だけではなく、心のケアや社会・経済的な問題へのケア、退院後の療養生活に向けた支援、希望を支えるためのケアなどが含まれます。緩和ケアチームの紹介を希望される方は、主治医・看護師にご相談下さい。



緩和ケアセンター連絡先

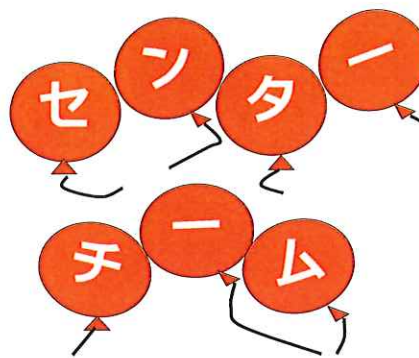
外線: 088-633-7457

担当: 緩和ケアセンター専従看護師

赤い矢印沿ってお越し下さい。







緩和ケアとは、重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアです



### チームメンバー

医師 2名  
（身体症状担当・精神症状担当）  
緩和認定看護師 2名  
薬剤師 2名・管理栄養士 1名・  
公認心理師 1名・理学療法士 2名・  
MSW 1名  
緩和ケアセンターGM・リンクナース

### 当チームの特徴

主治医・受け持ち看護師などから依頼を受けて、直接ケアを行うチームです。あわせて病棟スタッフへの助言・支援も行っています。  
切れ目ない緩和ケア実現のため、地域連携にも力を入れています。  
年に1回緩和医療学会の緩和ケアチームセルフチェックプログラムに参加してチームのバージョンアップを図っています。

### 実績（2019年9月～2020年8月）

介入患者 140名  
（がん135名・非がん5名）  
実施項目：  
疼痛 117・その他の身体症状 101  
転院在宅 71  
家族ケア 61・精神症状 45・  
社会的苦痛 22・スピリチュアル 19  
病状説明 11・その他 8

### Withコロナの当院の緩和ケア

面会制限が行われています  
（現在：病院からの呼出・荷物持参の1名のみ・14～20時で15分。流行に応じて面会禁止）  
精神的・スピリチュアルな苦痛の対応・家族ケアが難しくなっています。  
リモートカンファレンス・勉強会などに取り組みます。



徳島赤十字病院

# がんサポートチーム のご案内



主治医の先生と共に 多職種チームで 皆様を支援します

## ◆つらい症状がある

痛い、せこい、くわる、腹が張る、むかむかする、  
息苦しい、だるい、手足がむくむ、眠れない

## ◆心配なことがある

気になる、やる気にならない…

## ◆お金が心配

治療費はどのくらいかかるかな？ お金いけるかな？

## ◆これからが心配

いつ退院できるかな？ 家で居たいけど…

## ◆食事が心配

何を食べたらいいかな？ 少しでも食べたいな…

## ◆動くのが心配

動いてもいいかな？ 最近、体力が落ちてきたな…

ご相談は、入院病棟 あるいは 外来Aブロック受付へ



# 徳島赤十字病院 「小さな奇跡」

「患者を大切に思えば、時に奇跡が起こります。緩和ケアの在り方を、この出来事に学びました」看護週間の記念行事で看護職を希望する高校生らに体験を伝えたことが、2019年5月14日の徳島新聞『鳴潮』に掲載されました。その2週間後、『読者の手紙』に「院内挙式 看護師の企画感動」と投稿いただきましたので、ご紹介します。

「急性期病院では患者様と仲良くなるのが少ないと思われがちですが、私達の病棟は患者様に対し本当に素晴らしいスタッフで、この受賞は病棟みんなでの受賞です」  
がん看護専門看護師・がん性疼痛看護認定看護師 徳永亜希子



② Aさんは末期がなかった。Aさんには婚約者の彼女がいた。ある日、彼女から「彼の残された時間は少ないですよね。明日、役場に行って婚姻届を出してこよう」と思えます。本当は一緒に行くつもりだったけど、私一人になりそうと告白された。



④ 誰かが「私たちが結婚式をしてあげられないかな」とつぶやいた。そこにいた皆が不思議と同じ気持ちだった。上司の許可をもらい、急ぎよ、会場の用意や結婚式の準備に取り掛かった。



⑥ 結婚指輪が間に合わなかったので、お互いの手首にピンクのリボンを巻き、永遠の愛を誓った。栄養課が用意してくれたウエディングケーキを、Aさんは美味しそうに口いっぱいにはおぼけていた。それまでは食事のどを通らない状態だったのに、ふと目が合うと、うれしそうにほほ笑んだAさんの笑顔が今でも忘れられない。



⑧ 式から2週間後、Aさんは永眠されたが、しばらくして、彼女から手紙が届いた。手紙には「指のなかの彼の手首に、結婚式の時のピンクのリボンを巻いてあげました。私の分はお守りとして、大事に持ってください」と書かれていた。私たちの心がじんわり温かくなった。



① 小さな奇跡 (徳島県) 徳永亜希子  
第5回忘れられない看護エピソード  
看護職部門 優秀賞

【主催】厚生労働省/日本看護協会  
制作・作画 ニッキャリアデザイン専門学校  
マンガ科 石丸鈴恵 坂本成美



③ Aさんは古代、自分の病状を理解し、「死ぬのは怖くない。運命だと思っ。でも彼女には何か残しておいてあげたい」とよく話していた。私は、明日婚姻届を出すという彼女の話をスタッフへ伝えた。



⑤ 翌日、何も知らされず、酸素をしながら車いすで会場に連れてこられたAさんは、人目もはばからず大きな声で男泣きをした。そして、赤いドレスに身を包んだ花嫁をうれしそうに見つめていた。



⑦ その日から小さな奇跡が起こった。一時的にモルヒネの点滴や酸素も外し、外出ができるようになった。家に帰り遠産相模のことも話ができたと安堵し、彼女と穏やかな時間を過ごした。



⑨ 「本当に大切な緩和ケア」をAさんと彼女、そこにいたスタッフを通して教えてもらった。誰かを大切に思う気持ちは、時に小さな奇跡を起こすのだと思う。(終わり)

実際の看護体験から約5年後に、看護週間記念行事でお話しする機会を頂いたこと、それが徳島新聞に掲載されたこと、記事を読まれた方が読者の手紙に投稿いただいたこと、思いがけない出来事が次々と起こりました。さらに「新聞を見て本当にうれしかった」とご家族からお手紙を頂き、緩和ケアをやって良かったと心から思い、全てが小さな奇跡だと思わずにいられませんでした。緩和ケアを大切にしていくことで、「小さな奇跡」はこれから先もきっと続くと思います。



※緩和ケア病棟は新型コロナウイルス感染症対応のため一時閉棟しています

私たちは、患者さまとご家族が、尊厳をもってその人らしく生きることを支援します

がんと診断を受けた時、抗がん剤治療を続けている段階でも、今後の治療や生き方などの相談や意思決定支援などを行います。  
がん疾患以外の方へも緩和ケアを提供していきます。

### リモート面会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全館面会制限をさせていただいております。代替の面会方法としてリモート面会もご支援させていただきますのでお声掛けください。



緩和ケア外来  
毎週 月・木・金曜日  
9:30~11:30  
完全予約制

### お困りのことはございませんか？

- ・痛みが辛い
- ・息苦しい
- ・だるい
- ・吐き気
- ・眠れない
- ・痛み止めの薬を使うのが不安
- ・気分が落ち込む
- ・お金（治療費）のことが心配
- ・仕事を続けられるか心配
- ・家族のつらさ

抱え込まず  
ご相談ください



食事に関するご相談をお受けします



管理栄養士

療養先のことや療養生活に関わる支援制度に関するご相談をお受けします



患者支援センター

日常生活を維持するための  
ご相談をお受けします



リハビリテーション



薬剤師

お薬に関するご相談をお受けします





## 緩和ケアチーム

治療病棟では私たち緩和ケアチームが  
あなたのがん治療や療養生活を支えます！

### ☆緩和ケアチームの役割

- ◇ つらさを和らげるための方法を多職種で検討し、担当医に提案します
- ◇ がん相談員・緩和ケア認定看護師・臨床心理士・社会福祉士が、病院の相談部門におり、在宅療養中のいろいろな相談にも対応します
- ◇ がん治療や療養場所を決める際、患者さんとご家族の気持ちに寄り添いながら、一緒によい方法を考えます
- ◇ ご希望に応じて、主担当医からの病状説明に同席したり、意思決定に必要な情報をお調べしたりします
- ◇ 家族の方のご相談にも対応します

## 緩和ケア外来



緩和ケア病棟相談外来

患者さんとご家族に大切な時間を  
過ごしていただけるように！  
多職種チームで協働し  
その人らしく生きることを支えます

### ☆在宅療養中の方への活動



## 支持療法外来

Tokushima Municipal Hospital

がん治療中のあなたの  
つらい症状や気持ちを支えます



今おこなっているがんの治療を  
継続しながら並行して  
受けることができる治療です

希望される方は主治医・看護師にお伝えください

### ☆入院中の方への活動



☆訪問前の情報共有

☆病室訪問



☆多職種チームで検討会

## がん相談支援センター

ご本人やご家族の不安を少しでも  
和らげるために、医療や福祉など  
に関わる総合的な相談を専門員  
が専門員がお受けしています

### がん相談支援センターのご案内

Tokushima Municipal Hospital



患者支援センター  
の中におります！  
お気軽にお声かけ  
ください！

不安や心配事を一  
人で抱えず、これら  
のがん治療のことを一  
緒に考えていきましょ  
う！



専門の研修を受けた看護師・医療ソーシャルワーカー・公認  
心理師等がいます。

TEL 088-622-5121 (平日：8:30-17:00)





訪問診療・往診専門

医療  
法人

# かさまつ在宅クリニック

徳島市内を中心に、ご自宅での療養を希望される方の訪問診療、往診を専門に行うクリニックです。  
医師、看護師が他職種と連携して、365日24時間対応しています。

## 【当院の理念】

- 「患者さんの心の声に耳を傾け、患者さんに寄り添う医療を提供します」
- 「住み慣れた家で過ごせる幸せを実感できる在宅診療を実践します」
- 「子供から大人まで、家で過ごしたい患者さんの希望を実現します」

## 【このような患者さんが対象です】

- ・通院困難な方、寝たきり状態の方
- ・がん、難病で自宅療養中の方
- ・在宅酸素療法や人工呼吸器治療をされている方  
(気管切開をされている方の管理も可能です)
- ・中等度から重度の認知症があり自宅療養中の方
- ・脳梗塞後遺症などで経鼻胃管栄養、胃ろう栄養されている方
- ・床ずれなどの外科的処置が必要な方

★小児の在宅患者さんも診療します。

★病状の変化があれば、連携病院の主治医と連絡を取りながら治療を進めてまいります。

## 【費用の目安】

1割負担の患者さんで、医師が1ヶ月に2回訪問診療すると、おおよそ6,000円になります。(検査・注射・薬代など別途)

## 【診療範囲】

徳島市内中心その他、小松島市、北島町など、クリニックから車で30分程度の範囲です。

成人疾患別患者数(人)  
(2012年10月~2020年7月)

循環器疾患	49
脳血管疾患	58
認知症	50
悪性新生物	283
骨折・筋骨格系疾患	22
糖尿病	4
呼吸器系疾患(COPD以外)	10
COPD	17
神経系疾患(指定難病以外)	0
精神系疾患(統合失調症、うつ病など)	4
脊髄損傷	6
指定難病(神経系)	39
指定難病(神経系以外)	8
膠原病(関節リウマチ、自己免疫疾患など)	7
老衰	6
その他	25
合計	588

小児疾患別患者数(人)  
(2012年10月~2020年7月)

先天奇形症候群	9
低酸素性虚血性脳症	3
先天性腫瘍	2
先天性心疾患	2
染色体・遺伝子異常	7
難治性てんかん	3
その他	5
合計	31

年齢別患者数(人)  
(2012年10月~2020年7月)



【十分に感染対策を行っています】



【訪問看護師もいます】



【小児科医が訪問します】

訪問診療を希望する場合は、  
病院の主治医または医療相談  
窓口までご相談ください。



【患者さま向けのお便り】

〒770-0932 徳島市仲之町2丁目8番地 本庄ビル1階

電話：088-679-6393 【受付】月曜日~金曜日(土日祝を除く) 午前9時~午後5時

ホームページ：<http://www.kasamatsu-zaitaku.net> Eメール：[casa.home.care@gmail.com](mailto:casa.home.care@gmail.com)

フェイスブック：<https://www.facebook.com/kasamatsu.zaitaku.clinic/>



# 面会禁止：ポストコロナ時代のニューノーマル ～在宅緩和ケアという選択～

## 徳島往診クリニック（在宅緩和ケア充実診療所）

在宅緩和ケア充実診療所とは、機能強化型の在宅療養支援診療所の中でも、特に緊急往診・在宅看取りの実績が評価され、オピオイド系鎮痛薬の使用経験に富んだ医療機関です。

### 【自宅で提供可能なケア】

1. 定期的な訪問診療と訪問看護
2. 24時間対応の緊急訪問・電話相談
3. お薬の宅配
4. 痛みの緩和
  - \* 麻薬の使用も問題なく可能
5. 在宅酸素療法（人工呼吸・痰の吸引）
6. 経管栄養（胃ろう）
7. 点滴・中心静脈栄養（IVH・CVポート）
8. 腹水や胸水の処置・腹膜透析・腎ろう
9. 在宅での入浴等、介護保険の利用
10. 病院や施設ホスピスと連携したケア
11. 在宅での看取り

在宅緩和ケアを始めるには、もし入院中でもご自宅に帰りたいと思ったら、病院内にある地域連携室のメディカルソーシャルワーカーさんや退院調整看護師さんに、在宅緩和ケアに向けて、退院カンファレンスの開催をお願いしましょう。

病院スタッフ・在宅スタッフ（自宅に来てくれる医師や看護師さん）とご家族を交えた相談会をしてくれます。

\* 当院では、白血病や骨髄異形性症候群などの血液の病気で輸血が不可欠な方や各種がんによる出血のため輸血が必要な方には、倦怠感や息苦しさを和らげる目的でご自宅での輸血をしています。

皆さん、こんにちは。徳島往診クリニック理事長吉田です。昨年12月に中華人民共和国湖北省武漢市において肺炎の合併が報告された中で、これまでに見つかっているコロナウイルスとは異なるものを、WHO＝世界保健機関が「新型」としてリスクの評価を始めました。その後そのウイルス（COVID-19と命名）は、令和2年2月にはヒトからヒトへの感染が確認され、瞬く間に世界中に蔓延したことは皆さんご存じの通りです。その後、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が出され、様々な自粛が要請されていましたが5月14日には徳島県で、5月25日には全国で同宣言は解除されました。しかしながら、7月に入ると再び感染者が増え始め「第2波」と考えられました。そして、現在では感染経路不明の発症が増え、**家庭内感染**の蔓延が最大の問題となっています。

そういった状況の中、終末期の患者さんを主に診察している緩和ケア医や在宅医療に深く関わる医師＝外来で不特定多数の患者と接することがない医療者にも予期せぬ大きな影響が出現しました。それは、緩和ケア病棟や一般病棟に入院をお願いした場合に、新型コロナウイルスの院内感染予防のためご家族が入院している方に**面会でできなくなる**といった事態です。

緩和ケア病棟には、特に終末期の方が多く入院されています。残された短い時間のつらさを和らげるには、麻薬のような痛み止めも必要ですが、**家族や友人との面会・会話**といったものも大変大切です。それなのに面会禁止のため患者さん自身が孤独に苛まれ、またご家族が臨終にも立ち会えないといった状況が生じてしまいました。**人生の最期時間に愛するご家族や友人と会えないことは、いかに辛いことでしょうか。**

人生の終末期を過ごす場所として、緩和ケア病棟や施設に入ることに他に「ご自宅」を選択することが可能です。そしてコロナの時代の今、前述の状況のため**敢えて最期の場所としてご自宅を選択する**方が増えています。これまでは、「入院までは必要ないけれど、急に悪くなったらどうしよう」とか「家族の介護が大変だから入院しよう」といった方も多くいらっしゃったことでしょう。しかしながら、「面会禁止」という状況では、「思い切って最期まで自宅で過ごそう・過ごさせてあげよう」という選択肢を**敢えてお勧めしたい**と思います。そのために、我々在宅専門医や訪問看護師がいるのです。

最近、緩和ケアを受けられるようになった患者さんが在宅へ行き着いた経路として、次のふたつがあります。  
・病院の医師をはじめとしたスタッフが、「このまま入院を続けていると、最期までご家族に会えない可能性があるので、在宅医療に移行したらどうでしょう」という場合・ご家族が、「このまま入院していると最期まで顔を見られなくなるではないか」と考え、在宅医療への移行を望まれる場合です。しかし、いずれの場合も患者さんご自身はご家族に迷惑をかけたくないとの思いのため、ご自分からは「家で」とはとも言い出しづらいようです。  
そこで、以前行われた在宅緩和ケアに専門的に関わる施設へのアンケート調査で、がんの終末期患者さんの在宅での療養期間は**わずか約30日**に過ぎなかったという結果をお示したいと思います。このことは、患者側の「自宅で長い間寝たきりになったりしたら、家族に大きな迷惑をかけてしまう」、あるいは家族側の「ホントに最後まで介護ができるのだろうか」といった心配を軽くしてくれます。**つまり、最期の30日を頑張れば、充実した人生の終わりをご家族と共に迎えられる・過ごさせてあげられると言えるからです。**

もちろん、入院したら完全に面会禁止とは限らず、友人は不可でも家族の中の一部の方だけの短時間の面会を認めて居る施設もありますし、TV電話を使った面会を可能にしている施設もありますので、「どうしてもこれ以上は、自宅で介護することはできない」といった場合には、入院も選択肢となります。

新型コロナウイルスは、我々の日常を変えてしまいました。ポストコロナの時代、**在宅緩和ケア**は以前よりその意義を増し、**在宅緩和ケア**に携わる我々はさらに身の引き締まる思いで一杯です。



「がん」と診断されても  
住み慣れた地域で  
自分らしく暮らしていくために…



# がんで療養中の方へ ご自宅で過ごす際の 治療や介護に関することなど 様々なご相談に応じています

一般社団法人徳島市医師会

徳島市医師会では、在宅医療や介護の相談窓口として『徳島市在宅医療支援センター』を設置しております。徳島市在宅医療支援センターは、市民の皆さまから在宅医療や介護に関する一般相談に対応するとともに、高齢者を支える多職種（医師・歯科医師・薬剤師・看護師・ケアマネジャーなど）の連携を促進するための活動を行っています。

がん治療に伴う苦痛やつらさ（痛みや吐き気、倦怠感、心のつらさなど）をやわらげる治療＝緩和ケアについて知りたい



往診してくれる眼科や耳鼻咽喉科等の医師を紹介してほしい



## 徳島市在宅医療支援センター



介護などの支援が必要な場合は、徳島市地域包括支援センターと連携しています

相談専用フリーダイヤル / 0120-65-3960

《平日(月～金曜)9:00～17:15 ※祝日・年末年始をのぞく》



## 「在宅主治医を紹介します!」



徳島市医師会では、訪問診療をうけたいが、在宅主治医が見つからず困っている方のために、46の医療機関で在宅医療を提供するネットワーク：徳島市医師会在宅医療ネットワーク（通称：TIZI-NET）を構築し、在宅主治医を紹介しています。

「ずっと家で過ごしたい」、「一時的にでも家で過ごしたい」とのご希望に少しでも添えるようサポートしています。

～新型コロナウイルス感染症対策を万全にして対応しています～

お問い合わせ先：徳島市在宅医療支援センター

TEL:088-625-3960

FAX:088-625-3965



徳島市医師会ホームページにて、徳島市内にある在宅療養支援診療所の所在などを公開しております。是非ご利用ください。

<https://www.tokushimashi-med.or.jp/zaitakuiryo/>







## NPO法人AWAがん対策募金(あわがん)

### ●設立趣旨

広く県民を対象とし、がん患者並びにその家族の経済的負担を軽くする為の援助活動の支援、がん医療の均てん化に役立つ患者・患者会等への活動の支援、在宅緩和ケアに必要な介護用品の支援、がんに関する啓発活動の支援に貢献します。

### ●がん検診率向上プロジェクト

若者から大切な家族や親しい方にあてて、がん検診をすすめるメッセージカードを書いてもらい、がんやがん検診に関心をもってもらおうというものです。



### ●がん情報収集支援事業

国立がん対策情報センター及び医療機関、国、徳島県から患者及び国民に向けて提供される情報の内容が、患者が欲しい情報・支援・がん医療の質向上の貢献になることを目的としています。

### ●ネットワーク構築事業

近い将来発生が予測される「南海トラフ巨大地震」を始めとした大規模災害時におけるネットワーク体制を整備するため検討する場、「徳島県医療関係者と患者会等とのネットワーク構築研修会」を実施しています。

### ●患者支援

- ①患者への支援・・・小中学生のいるご家庭に給食費の支援を実施（累計67名）
- ②患者会への支援・・・ガンフレンド／徳島県立中央病院がんサロン  
日本オストミー協会徳島支部／あわホームホスピス研究会へ寄付
- ③在宅緩和ケアに必要な介護用品の支援  
2018年度・・・徳島看護協会阿南訪問看護st.へパルスオキシメーター3台を寄贈  
・・・ひだまり訪問看護st.に吸引器を寄贈  
2019年度・・・とくしま健生訪問看護st.へパルスオキシメーター2台を寄贈  
・・・訪問看護st.協同へ吸引器・ネブライザーを寄贈

### ●募金箱の設置

(株)キョーエイ29店舗／TOKUSHIMA COFFEE WORKS 3店舗／徳島県庁生協売店  
徳島県立中央病院＊受付＊1Fローソン／Honda Cars 小松島大林店／森田技研工業(株)  
直心庵／コート・ベール徳島ゴルフクラブ／WAKA Ristorante／徳島県医師会館

### ●寄付金付き自動販売機の設置

県内に37台。売り上げの一部がAWAがん対策募金に寄付されます。

---

協賛企業：徳島バナナ(株)／(株)スミフルジャパン／大塚製薬(株)／大塚ウエルネスベンディング(株)  
(株)キョーエイ／徳島ペプシコーラ販売(株)／(有)オハラ／(有)栄興自動車販売／(株)谷食糧  
(株)コート・ベール徳島ゴルフクラブ

---

AWAがん対策募金の活動にご賛同いただける方は、是非ご入会下さい。

お問い合わせ先：NPO法人AWAがん対策募金（あわがん）事務局

TEL 0884-23-3553／FAX 0884-23-2588／E-Mail awagan@mbr.nifty.com



# がん検診率向上プロジェクト

## ■プロジェクトの趣旨

若者から大切な家族や親しい方に宛てて、がん検診をすすめるメッセージカードを書いてもらい、それを送ることで、がん検診に関心をもってもらおうというものです。普段は言いにくい感謝の気持ちをメッセージカードに添えて伝えることもできますし、親は子どもから送られたカードを記念に残すこともできます。家族からの心のこもった呼びかけが、がん検診受診率の向上につながります。

## ■次世代健康教育事業 出前講座

県内の小中学校・高校に出向き、医師からのがんについての講話及びがん患者さんの体験談、大切な方へのメッセージカードの作成を行います。講話を聞くことにより、がんが身近な病気であるということや検診の重要性を知ってもらい、児童・生徒自身が大人になった時にも検診を受けてもらいたいと考えています。



徳島市立高校



鳴門中学校



あなん健康まつり



四国大学 芳蘭祭

## ★2019年度 出前講座でのメッセージカード作成★

日付	学校名	対象	人数	枚数	講話演題/講師(敬称略)
3/19	富岡東高校 羽ノ浦校	看護科 1年生	40	40	「がんタバコ 将来、禁煙指導するあなたへ」 寺嶋吉保(徳島県立中央病院)
3/20	鳴門高校 定時制	1~4年生	50	20	「がんになって知った 煙草の怖さ・・・」 渋谷義久(AWAがん)
5/7	徳島北高校	1年生	320	169	「生活習慣とがんの関係」 木村秀(東徳島医療センター)
6/20	川島高校	1年生	140	132	「人生の逆境にどう向き合うか?~がん闘病体験を通じてのメッセージ~」 岡部憲治(STAND UP!!)
7/2	神山中学校	全学年	64	64	「がんになりにくい生活を送ろう」 滝沢宏光(徳島大学病院)
7/12	徳島市立高校	2年生	36	32	「がんから考える徳島の地域医療の現状」 鎌村好孝(徳島県健康福祉部)
7/16	城南高校	1年生	280	270	「がんの予防」丹黒章(徳島大学) 「がんと向き合う」川崎陽二(AWAがん)
7/16	鳴門中学校	1年生	60	60	「がんのなぜQ&A」兼松晴彦(兼松病院)
7/17	池田高校辻校	3年生	65	70	「『がん』のこと」住友正幸(徳島県立三好病院)
9/18 9/27	穴吹高校	1年生	60	57	「『がん』のこと」住友正幸(徳島県立三好病院)
10/18	城西高校 神山分校	3年生	26	24	「がんになりにくい生活とその工夫」 宮本弘志(徳島大学病院がん診療連携センター)
10/29	富岡西高校	1年生	210	203	「がんの話:親や自分が、がん等で早死にしないために」 田上誉史(阿南医療センター)
11/22	那賀高校	1年生	65	56	「早期発見の大切さ、生活習慣とがん」 郡利江(徳島県看護協会)
12/17	阿波高校	1年生	180	171	「がんの予防~健康な生活を送るために~」 猪井弘子(吉野川保健所)
合 計			1,596	1,368	

## ★2018年度 学生祭・イベントでのメッセージカード作成★

日付	学校名・イベント	枚数
10/10	徳島ビジネスチャレンジメッセ	25
10/17	あなん健康まつり	144
10/20	徳島県鳴門病院附属看護専門学校 鳴看祭	100
11/2	徳島大学 蔵本祭	96
11/8~10	四国大学 芳蘭祭	154
合 計		519



NPO法人AWAがん対策募金